

高宮堆肥センター

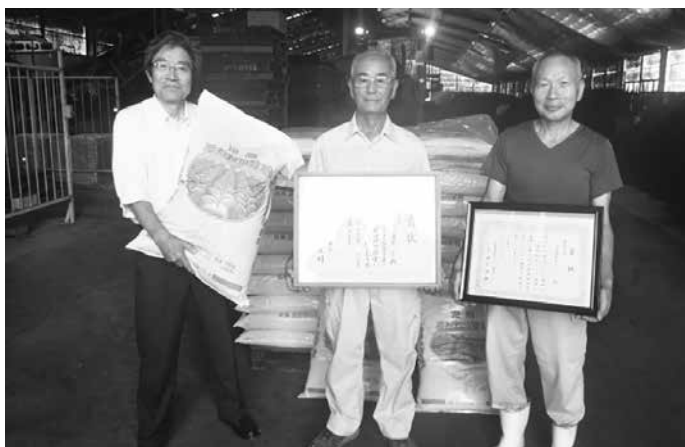
九月二日 広島県畜産技術センター

安芸高田市「高宮堆肥センター」 堆肥共励会で「最優秀賞」受賞

地域と一体となった堆肥作り

広島県堆肥センター協議会(会長 道下伸雄)は、家畜排せつ物を適正に処理し、良質な堆肥を生産するため技術向上や流通・利用の促進を図るため、平成二十六年度(第九回)広島県堆肥共励会を開催した。これには県内二十一団体が参加され、最優秀賞に安芸高田市高宮堆肥センター(組合長 木原史)が輝かれた。

高宮堆肥センターは安芸高田市から指定管理制度を受け、広島県製肥(株)と製造委託契約を結び、地域と一体となった取り組みが行われている。堆肥共励会への出品は平成二十二年から行われ、今回最優秀賞を受賞された。広島県製肥(株)山道信社長は、「今後も堆肥循環型の耕畜連携した土造り・産地造りで広島県の農業に取り組みたい」と述べられた。木原組合長は「委託している広島県製肥(株)



努力により最優秀賞を受賞したこと
に感謝している」と述べられ、レスト
菌(発酵促進剤)を利用し、更に良質
な完熟こだわり堆肥作りを販売した
いと述べられた。

西部楽酪会

九月五日 西部事業所会議室

子牛の管理をしっかりと

西部楽酪会(会長 砂子拓也)は「出生後三ヶ月間の子牛の管理について」と題し、湯口大祐氏(東亜薬品工業(株))を講師に招き研修会を開催した。

講師からは次の四点にポイントを絞って説明があり、質疑応答では自家育成の多い地域でもあり、子牛管理の質問が多く、充実した研修会となった。

■子牛管理の四つのポイント

- ①ミルクの「がぶ飲み」はさせない
第一胃にミルクが入ると異常発酵し下痢等の元となる。
- ②乾草は第一胃の絨毛形成前には殆ど与えない
乾草を多く与えてしまうと消化・吸収が出来ず、粗飼料の堅い繊維が胃や腸を傷つけ、下痢や消化不良・発育不良の元となる。
- ③スターターを給与することで、絨毛がしっかりと発達する
スターター給与による絨毛発達は科学的に証明されており、絨毛が発達することで粗飼料の消化・吸収率が向上する。
- ④水は綺麗なものを飲みたい時に飲めるだけの環境を整える

水分摂取量と乾物摂取量は相関関係があるため、スターター等の食い込みが良くなる。但し、冬場には水温に注意が必要。



バーベキューで親睦交流

西部地区組合員連絡協議会(会長 西原嘉一)は、第二十一回西部地区交流会を開催し、会員家族や関係団体七十名が参加した。西原会長は「先般発生した広島市の豪雨災害で被災された方々を見舞い、亡くなられた

方々のご冥福をお祈りする。今回は当初の予定を変更し、バーベキュー等で親睦を図って戴きたい」と挨拶し、来賓の箕野博司北広島町長は「飼料高騰等で酪農経営は厳しい状況と認識している。町としても飼料稲生産に向けた取り組みを進めている」との挨拶があった。鈴木道弘専務(弘酪)からは、配合飼料価格及び粗飼料価格状況、乳価交渉の状況等を説明した。

懇親会では、各業者等から協賛戴いた商品の獲得を目指してビンゴゲームの開催や、抽選による目玉商品の争奪と大変盛り上がった。また、木下栄政・頼光伸考削蹄師は六月開催の広島県削蹄協議大会で上位の成績となり、先般、岡山で開催された中国大会でも上位に輝き、来る十月開催の全国大会への出場が決定したと報告され、会員から激励を受けた。そして、今年六月をもって退職された広島協同乳業(株)の田中部長に対して、協議会から敬意を表し、ミルク会役員の福原美江さんより花束が贈呈された。



あ～美味しかった
楽しかった～

生まれたての子牛「かわいい」 牛乳・酪農への理解を深める

牛には4つの胃があるよ!



よ」と子どもたちに説明し、牛の体の仕組みを初めて知った子どもは驚いた様子だった。説明後は子どもたちと牛とのふれ合い時間を設け、親はカメラを手に我が子と牛とのツーショット撮影を試み、子ども達は日頃、牛とのふれ合いが無いためか、飼槽にある餌を手に取りながら恐る恐る牛に与えたり、勇気のある子は頭に触れたり、初めての体験に興味津々で目を輝かせていた。また、牛舎には生まれたての子牛もおり「かわいい」などの声上がり、子どもとふれ合いながら楽しく時間を過ごされていた。

(有)芸北ルーラル牧場の次は広島協同乳業(株)の工場へ移動し、牧場で搾った牛乳が店等で陳列される牛乳パックになる過程を見学した。

広島協同乳業(株)と(株)広島ホームテレビは合同で「たまこちゃんとコックボー」おいしい牛乳 県北搾りバスツアーを開催し、広島市内等の消費者十組二十名の親子が北広島町芸北地区を訪れた。

一行は、同地区アンデルセン研修センターで手作りパンとバター作りを体験した後、「県北搾り」の生乳出荷元のひとつ、(有)芸北ルーラル牧場を見学した。



消費者を迎え入れた同牧場の斉藤正和さんは、「牛には4つの胃袋があり、お産をしないと生乳は出ないんだ。